ヒラリークリントン氏 「Hillary Clinton's Initiative on Technology & Innovation」を発表
特許問題および著作権問題に言及

２０１６年７月１３日
JETRONY 知財部
今　村　、　丸　岡

大統領選挙で民主党候補指名を受けると見られる Hillary Clinton 氏は選挙運動ウェブサイトで「Hillary Clinton's Initiative on Technology & Innovation」を発表し、その中で、特許問題および著作権問題に言及した。

＜概要＞

建国以来、米国の特許制度は、世界の羨望の的であり、紡績機からコンピューターに至るイノベーションを手助けしてきた。そのうえで以下のような改正を行うことにより、イノベーターに利益を与え続けることができる特許制度を確かなものにしなければならない。

①訴訟対策
オバマ大統領はパテントトロールの根拠に欠ける訴訟提起に対して重要な抑制策を講じたものの、高費用の悪質な訴訟は依然として存在するため、フォーラムショッピングの制限、デマンドレター記載要件の厳格化、特許訴訟当事者の利害関係者に関する情報の透明化など焦点を絞った追加的な規則変更を支持する。

②米国特許商標庁（USPTO）
USPTO が特許出願を迅速に審査して有効な特許のみを発行するために必要なツールとリソースとを持つことは重要であるため、同庁に対して全手数料収入の留保を認める法案を支持する。また、特許出願バックログを削減するために出願審査の迅速化に向けた基準を策定すべきである。

③著作権
著作権制度の近代化、権利の所在が不明な著作物（orphan works）の解放、連邦資金に基づく成果物の利用許諾オープン化、コンテンツ利用許諾の効率化などを支持する。

Hillary Clinton's Initiative on Technology & Innovation：
https://www.hillaryclinton.com/briefing/factsheets/2016/06/27/hillary-clintons-initiative-on-technology-innovation/

以上